

博士課程教育リーディングプログラム 平成26年度プログラム実施状況報告書

採択年度	平成23年度		
申請大学名	大阪大学	申請大学長名	平野 俊夫
申請類型	オールラウンド型	プログラム責任者名	東島 清
整理番号	A02	プログラムコーディネーター名	藤田 喜久雄
プログラム名	超域イノベーション博士課程プログラム		

<プログラム進捗状況概要>

1. プログラムの目的・大学の改革構想

超域イノベーション博士課程プログラムでは、さまざまな専門領域、国境、既成観念、相場観といった「境域」を超えて社会システムの変革を導くイノベーション、すなわち、超域イノベーションを実現するための高度な専門力とそれを超域することによってさまざまな分野で活用するための汎用力に支えられた知的体力と勇気を持つグローバルリーダーとなる博士人材を養成することを目的とする。

大阪大学では、大学の使命は大学でしかできない基礎的学術研究と、大学でしかできない学問基盤を有した人材の育成である、という理念のもと、特に、教育の面では、将来各方面で指導的立場に立ち、人類の福祉と繁栄に寄与できる国際性豊かな優秀な人材を育て、世に送り出すことを大きな目標としている。そのもとに、本プログラムを、22世紀においても輝き続ける大阪大学の基盤の一つに位置付けて、強力で推進する。

2. プログラムの進捗状況

- ・ 三期生20名を受け入れ、2年間の教育実施を踏まえて授業科目をコア科目群、知識・教養系科目群、展開力系科目群、言語科目群、アクティビティ科目群として再構成した上で、3学年に対して独自のコースワーク(全67科目)を実施した。コースワークでは、3年次生を対象とした社会課題についてのプロジェクト学習により課題発見・解決力を総合化する科目を新規に導入したほか、独自に開発した当該分野のエッセンスを学び取るためのモジュール科目やブータンと東ティモールでのフィールドスタディをはじめとする汎用力の養成に向けた特徴的な科目を継続して実施した。
- ・ 履修生の自主的活動支援の枠組みとして「独創的教育研究活動経費」を運用し、43件の取り組みを支援して、履修生の企画力や実践力等を高めた。
- ・ 履修生のキャリアイメージを具体化するために、先駆者を招いた座談会形式による「フューチャーリーダーズ・フォーラム」を4回開催した。
- ・ 学界3名、産業界3名からなる外部評価委員会を組織し、1月にその第三回の評価委員会を実施するなどして、プログラムの進捗を自ら評価確認した。
- ・ 四期生の募集について、書類審査と面接による一次選抜・小論文やワークショップなどによる合宿型の二次選抜を実施した。
- ・ オールラウンド型7プログラムが一堂に会するシンポジウムを9月に開催し、相互の連携や協働での経済界への働きかけの足掛かりを形成した。